

営農型太陽光発電の課題を解決！ 景観に調和した エコデザイン太陽光発電技術

地球温暖化って世界の問題？国の問題？身近な問題？
今回の環境学習会では、**農業**をテーマに講演会を開催します。
環境×農業について一緒に考えてみませんか。

営農型太陽光発電が注目される一方で、収穫量の減少や景観への影響などの課題について慎重に考えていく必要があります。講演では課題の解説や、遮光発電フィルムを用いた農作物栽培と太陽光発電を両立する「ソーラーマッチング」について紹介します。講師と参加者との交流を交えながら、今後の原村におけるスマート農業について考えていきます。

参加無料

開催日時：令和6年1月16日（火）13:30-15:00

開催場所：原村中央公民館 講堂

お申込み：お電話もしくははこちらから



申込締切
令和6年1月11（木）



講演者および略歴

公立諏訪東京理科大学 工学部機械電気工学科 渡邊康之 先生

2003年 東京理科大学 博士（工学）の学位取得

2003年 千葉大学ベンチャービジネスラボラトリー研究員

2005年 NEDO国家プロジェクト「高効率有機デバイスの開発」研究員

2007年 千葉大学先進科学センター特任講師

2010年～諏訪東京理科大学に講師として着任

現在 公立諏訪東京理科大学 工学部 機械電気工学科 教授

エネルギー・環境分野にて、有機太陽電池をはじめとする有機半導体デバイスの開発など有機分子バイオエレクトロニクスの研究に従事

最近は特に農業用太陽電池に関し新たなコンセプトを世界に先駆け提案し開発を進めている

2010年4月より茅野市在住